

平成25年度「北海道チャレンジ企業表彰」受賞企業と選定理由

【創業部門】（3社、五十音順）

企業名	株式会社 知床らうすリンクル		
所在地	羅臼町	代表者	後藤 菜生子
業種	観光ガイド	創業	平成25年
取組内容と選定理由	<ul style="list-style-type: none"> 代表者は埼玉県出身。世界自然遺産に登録された羅臼町で環境省アクティブレンジャー（自然保護官補佐）として5年の勤務の後、羅臼の自然や食、産業の魅力を広く発信するため、観光ガイド会社を設立した。 地元観光協会、観光船協議会、漁業協同組合と連携し、市場競り見学ツアーをはじめ羅臼ならではの産業観光メニューを展開している。 アクティブレンジャーとしての経験を活かし、ネイチャーガイドでは知床の自然の魅力、自然保護への取組みを伝えることで、世界自然遺産知床の環境保全にも貢献している。 		

企業名	北海道真狩村金丸農園直営野菜居酒屋ルンゴカーニバル		
所在地	札幌市（北区）	代表者	金丸 将樹
業種	野菜農家直営の居酒屋	創業	平成24年
取組内容と選定理由	<ul style="list-style-type: none"> 真狩村の野菜農家「金丸農園」の後継者として農業を営む一方、札幌市内に直営の居酒屋を開業した。農業の六次産業化のモデルケースである。 店舗は自前で生産した野菜を提供する洋風居酒屋であり、連日、店内は活況に満ちている。フランチャイズシステムを活用したこの事業の成功は真狩村の若い農業従事者に大きな影響を与えている。 食材は主に規格外品を提供しており、農業収益の改善に寄与しているほか、同村の特産品であるアスパラガス、じゃがいも、ユリ根などを店内で取次ぎ販売し、真狩ブランドの普及にも貢献している。 		

企業名	株式会社 リナイス		
所在地	札幌市（東区）	代表者	中野 英春・鳴海 正樹
事業内容	サプリメント等製造・販売	創業	平成23年
取組内容と選定理由	<ul style="list-style-type: none"> 独自の抽出・精製技術をもとに、未利用資源であるサケの頭部鼻軟骨から抽出・精製した機能性素材（非変性プロテオグリカン、非変性Ⅱ型コラーゲン）の優れた特徴を生かし、サプリメントや健康ドリンク、化粧品向け原料の製造販売を行っている。 美容健康素材の中でも、安全性・機能性の面から天然魚由来のコラーゲンの市場は拡大しており、同社の量産化技術の確立による躍進が期待される。 長万部町に自社工場を設置し、町内水産会社との提携による原料の安定確保により、従来廃棄されていた大量のサケ頭部の有効活用に繋がっている。 		

【経営革新部門】（3社、五十音順）

企 業 名	株式会社 シティック		
所 在 地	新ひだか町	代 表 者	行方 将泰
業 種	下水道管理・浄化槽調整剤製造	創 業	昭和28年
取組内容と選定理由	<ul style="list-style-type: none"> ・同社は、従来より下水道処理施設維持管理業務を担ってきたが、多角化戦略の一環として、浄化槽用シーディング剤「イグアスE x」を製造販売。 ・浄化槽用シーディング剤は浄化槽の汚水処理機能の早期立上げや機能調整に使用するものだが、同社は、未利用バイオマスを原料に、堆積発酵中に発生する有用バクテリア群や成分に着目して製品を開発した。 ・同製品は既に特許を取得しているほか、「北海道認定リサイクル製品」にも選定されている。また、海外からも注目され、欧米、東南アジア、インド、中東など積極的な展開を図っている。 		

企 業 名	株式会社 昭和冷凍プラント		
所 在 地	釧路市	代 表 者	若山 敏次
業 種	冷凍冷蔵設備設計・製作	創 業	昭和57年
取組内容と選定理由	<ul style="list-style-type: none"> ・窒素ガスを封入した「窒素氷®」を開発し、道内外に事業を展開している。酸素を含まない窒素氷は鮮魚の保管・輸送の際の酸化を抑制し鮮度を維持する効果があるため、付加価値の向上により遠隔地への輸送が可能となる。 ・窒素氷の活用は水産加工業にとどまらず、臓器保存液の鮮度保持など医療分野や原発汚染水処理など多方面への応用展開に取り組んでいる。 ・平成24年には岩手県大船渡市に窒素氷自動製氷工場を施工し、三陸水産業の復興を後押ししているほか、釧路市やJICAと連携し、海外進出も視野に入れた取組みを行っている。 		

企 業 名	フィールド倶楽部株式会社		
所 在 地	北広島市	代 表 者	見上 眞司
業 種	屋外広告物等企画製作	創 業	昭和63年
取組内容と選定理由	<ul style="list-style-type: none"> ・不動産業として設立した後、平成9年から看板など屋外広告物の企画製作に主業を転換。以後、顧客の潜在ニーズを深耕して商業施設・公共施設の企画・設計デザイン・施工を担うまでに事業を拡大している。 ・平成25年、これらの経験や技術を活かした新たな市場の創造を目的に、中小企業新事業活動促進法に基づく認定を受け、「ウレタンフォームへの特殊コーティング技術を活用した商品の開発・市場化事業」に着手した。 ・本道特有の受注の季節変動に対応するため、東京・大阪にも進出しており、現在は道内・道外の受注割合はほぼ半々となっている。 		